



みんなのホスピタルガイド

ドクターからのアドバイス



北海道大学卒業。
日本リウマチ学会リウマチ専門医

「関節リウマチ診療ガイドライン 2020」が出ました!

佐川 昭リウマチクリニック 院長 佐川 昭 先生

【はじめに】関節リウマチの治療法は日々進歩しています。日本リウマチ学会は2014年に診療ガイドラインをまとめましたが6年ぶりに改訂版をこの4月に発行しました。その背景にはリウマチの有力な治療薬がこの10数年相次いで発売され、これらの新しい薬をリウマチ専門医が適切に使い分ける必要があるからです。

【ガイドラインの特徴】今回は高齢者や成人、成人移行期、妊娠・周産期にある患者ごとの対策を明確にし、薬物療法以外にも手術療法やリハビリテーション、そして地域医療対策にまで踏み込んでいるのが特徴です。臨床現場の私たちが正に待ち望んでいた内容です。

【治療目標】疾患の活動性の低下や関節破壊の進行抑制を介して、長期予後の改善、とくにQOLの最大化と生命予後の改善を目指すことが目標です。

【治療原則】その目標を達成するためにAからEまで5つの原則が挙げられており、これはヨーロッパの学会と共通です。その中でAは治療目標に向かって患者とリウマチ医が一緒になって治療法を決めて行くこと。Eはリウマチ患者の個人的、医療的、社会的な費用負担が大きいことをリウマチ医は考慮すべきとしています。学会がこのようなことを率先して述べてくれていることに私は以前から深く感動していました。

【おわりに】出たばかりの新しいガイドラインを手にとりこの内容を患者さんと共有しながらより良い治療法を見つけ出して行く旅を始めたいと思っている今日この頃です。

企画・道新サービスセンター